

歴史遺産語り

鳥羽のきらり

教育委員会生涯学習課 TEL 25-1268

知られざる
鳥羽の魅力を
たっぷり
お届けします!



豊田祥三
鳥羽市文化財専門員

九鬼だけではない!
鳥羽藩主を一番長く

務めた稲垣氏

7月下旬に、鳥羽四丁目の鳥羽大庄屋かどやで「稲垣家資料展」が開催され、鳥羽に遺された稲垣家関係の資料が展示されました。みなさんは稲垣氏のことをご存じでしょうか?

稲垣家は、鳥羽藩の最後の藩主で、徳川家と関係が深い譜代大名でした。享保10年(1725)に稲垣昭賢が下野烏山藩(現在の栃木県那須烏山市)から入封し、その後、8代にわたり鳥羽藩主として明治を迎えるまで約140年間鳥羽を治めた大名です。鳥羽藩といえば九鬼氏が有名ですが、実は最も長く鳥羽を治めたのは稲垣氏なのです。稲垣家は、着任翌年の享保11年に鳥羽藩内の各村を把握

するため、指出帳を提出させています。在任中は、度重なる災害などもあり財政事情が厳しく、幕末の戊辰戦争では幕府側に味方したために新政府側から多大な賠償金を請求されるなど難しい藩政を強いられました。

市内には稲垣家ゆかりの場所があります。菩提寺は鳥羽三丁目の光岳寺で、霊廟があります。また、二丁目の常安寺には6代目長明く8代目長敬の墓があります。家紋は抱茗荷で、鳥羽城跡の発掘調査ではこの家紋の入った瓦が出土しています。また、稲垣家より近世の資料が市立図書館に寄贈されており7月の展示でも一部が公開されました。鳥羽藩を治めた大名は九鬼家だけではなく。最も長く治めた大名は稲垣家であることをぜひ知っていただけたらと思います。



稲垣家の初代当主
稲垣長茂の肖像画



稲垣家資料展の様子



鳥羽市の文化財

サワラ



鳥羽市が誇る四季折々の「鳥羽さかな」を漁協さんご紹介!

10月
旬の
鳥羽さかな

vol. 10

観光商工課観光係
TEL 25-1157
農林水産課水産係
TEL 25-1167

生食を敬遠するかたもいますが、新鮮なサワラが手に入る鳥羽では、やはり刺身で味わうのがオススメです。特に、焼き目が香ばしく、奥深い旨味のある炙りは絶品です。

大きな口と鋭い歯を持つサワラは、イワシ類などの小魚を捕食しながら、全長1m以上にまで成長します。体高の低い流線形のフォルムが美しく、深く二股に分かれた尻びれは高速遊泳に適した形状をしています。その泳ぐ速さは驚異的で、一説には瞬間時速100kmにもなると言われています。

サワラの身は、ほんのりとした甘みと上品な味わいが特徴で、焼き物、揚げ物、煮付けなど、幅広い調理法でおいしく味わえます。サワラは釣りたてでも身が柔らかいため、鮮度が落ちていると誤解して